

沖縄・反戦地主の闘い

— 米軍用地の強制使用に反対して

まやかしの「負担軽減」の名のもと、日米両政府は沖縄の基地機能強化を「合意」しました。これ以上基地負担を押し付けるな！という沖縄の人々の要求が踏みにじられています。

一方で、8月1日には、知花昌一さんの土地である、読谷村の米軍楚辺通信所（通称：「象のオリ」）が返還されました。

このような現況のなか、先祖伝来の土地を一坪たりとも軍用地として使わせないとする、沖縄・反戦地主会の闘いの報告を受けます。

土地の強制使用をめぐる、当該地主と那覇防衛施設局との、沖縄県収用委員会をあいだに立てた、公開審理が行われてきました。この公開審理の現状についても、認識を深めていこうと考えています。

学習会への参加を呼びかけます。

日時：2006年9月30日（土）18時開場、18時半開始

場所：中野区立商工会館 3階大会議室
Tel3389-1181 / JR 中野駅北口より徒歩7分
／車での来館はできません。



講師：池原秀明さん

権利と財産を守る軍用地主会：通称「反戦地主会」事務局長
沖縄市市議会議員

参加費：500円

ビデオ上映あり「取戻ちゃんどー（取り戻したぞ）」

知花昌一さんのお礼集会」



主催 沖縄・一坪反戦地主会 関東ブロック

東京都千代田区三崎町 2-2-13-502 電話 090-3910-4140